

辺田方トレールラン コースガイド



日吉神社の鳥居下からスタートです。

まずは、徳川家康ゆかりの八鶴湖を時計回りに一周します。

八鶴湖は慶長 18 年（1613）、徳川家康が東金に鷹狩りに訪れた際、宿泊所となった東金御殿の庭池として整備された一周約 800m の人造湖です。



八鶴湖畔の民家の庭に蜜柑が実ってます。

その昔、家康が生産を奨励した東金蜜柑は幕府への献上品でした。



左手に大同 2（807）年、伝教大師・最澄が創建した最福寺を見ながら通過。杉木立からのぞく本堂は、現在、世界最古の企業＝金剛組による修復工事中。



忠魂碑の角を右折します。
この忠魂碑は、満州事変から太平洋戦争までに亡くなった方を慰霊するために建立されたものです。



国登録有形文化財の八鶴亭を左手に見ながらすすみます。木造 3 階建ての建物はなかなかの風情。現在はレストランとして営業中。



東金高校前を通過。ここに昔、徳川家康が建てた東金御殿があったのです（1613～1671）。右手に弁天島が見えます。



本漸寺の山門前を通過。ここは家康以前に東金を治めた酒井氏の菩提寺です。観光案内所前を通過、スタート地点の鳥居を右折。ここまでで約 840m。



布施分店を過ぎてカーブミラーのあるT字路を左折します。難所の七曲がり坂まではゆるい上りが約 330mつづきます。



途中左手にレンガ積みの跡が。昔、ここには造り酒屋があったそうです。七曲がり坂の手前右にある台形状の施設は浄水場の跡。



さあ、難所の七曲がり坂の始まりです。ここから約 30mの標高差を一気に駆け上ります。平均斜度 14 度くらい。



4コーナーから5コーナーをクリア。路面状態はややウェット。
九十九折の坂が200m以上つづきます。



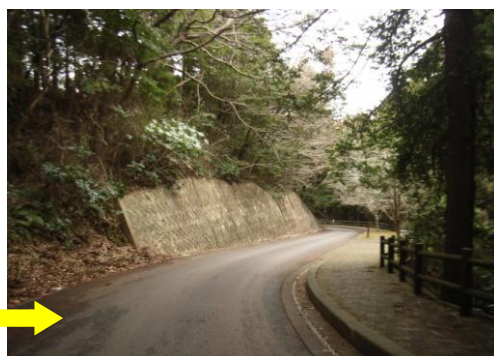
「みんなの森」への入り口を背に、ゆるいS字の上り坂がつづきます。
6コーナーが見えてきました。



ようやく出口が見えてきました。
ここを曲がれば、山王台公園です。



300mくらいゆるやかに下っていきます。
右手に八鶴湖への降り口が見えてきたら、左折します。



あとは岩川池に向かって一気に300mくらい下っていきます。
かなり勢いがつきます。



サンプスギの林を見ながら坂を下りきると、右手に駐車場と芝生広場が見えてきます。この辺の桜は遅咲きなので、4月下旬にもお花見ができます。



道なりに、岩川池を右手に見ながらすすみます。枯れたスギが湖中に沈んでいるのが不思議な光景。この池もかつては近隣の水田の農業用水でした。



セントラルパーク自然体験の森の看板が見えたら右折します。60mほどすすんでまた右折。ここから再び上り坂です。



浅間神社脇の上り坂です。鳥居を過ぎると、一瞬、市街地が左手に見えます。この坂は約440mつづきます。



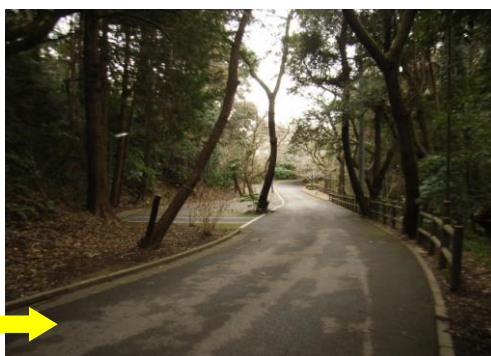
二分割(?)された浅間神社の標柱と、市指定文化財の「庚申塔」を左手に見ながら、さらに上ります。



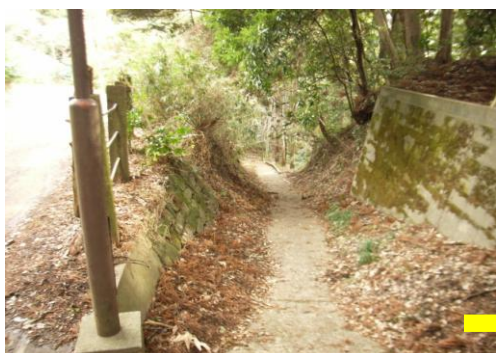
枕木を上手く利用した遊歩道。春は桜、夏はアジサイが咲く道です。
上りきったら、左折して展望広場へ回り込みます。



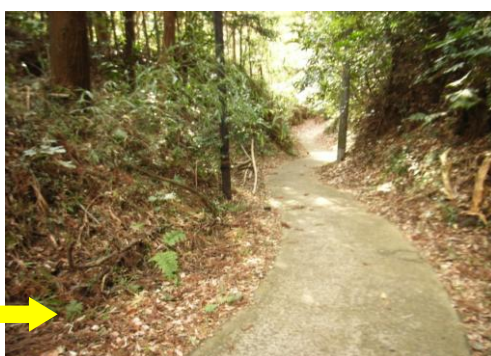
山王台公園の展望広場です。ここが給水所になります。
市街地と九十九里平野を一望するビューポイント。
初日の出も多くの人でにぎわいます。



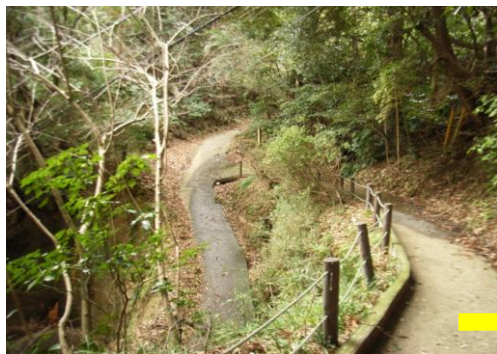
東金最古の神社「古山王神社」の参道を左手に、駐車場方面にすすみます。この先 450mほどで、再び七曲がり坂が待っています。



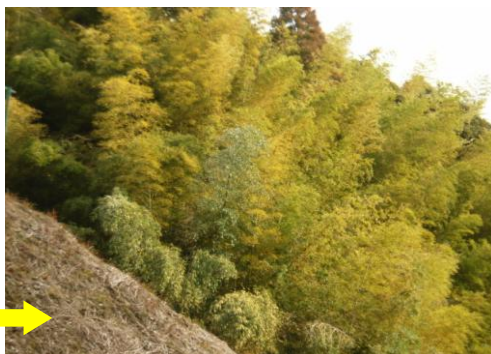
さあ、今度は七曲がり坂の下りです。
上から見ると傾斜のきつさがわかりますね。
ここからは「追い越し禁止」をお願いします。



勢いづいて止まれなくなりそう。



みんなの森への入り口あたりは路面ウェットなのでかなり危ないです。くれぐれも先を急がないように。



下りって浄水場跡へ。左手を見上げると、竹林が風にそよんでいます。この時期の竹は黄色味が強くて鮮やか。



途中、小さな神社への参道入り口にある風流な石橋を左手にみながら、さらにすすんでT字路へ。ここで右折します。



スタート地点の鳥居に戻ってきました。その向こうが、ゴールの児童公園。桜まつりではいろんなイベントでにぎわいます。



観光案内所の裏手あたりがゴールです。距離はおおよそ4.2キロ。おつかれさまでした！順位は「隠しタイム」との差で決まるので、早い遅いは関係なし。発表があるまで、最福寺や御殿山、日吉神社など、近所の名所旧跡を散策してはいかが？ 余裕があれば、ですけど。